

徳島と香川の手仕事のコラボ

# 藍染め竹うちわ 制作講座

丸亀うちわ十阿波和紙十阿波藍

## ほたる絞り

藍色の空に舞うほたるの、  
淡くほのかな光のような  
ほたる絞りの藍染め和紙を貼り、  
見た目も涼しいうちわを作ります。

2024  
6月30日 日

午前の部 10:00~12:00  
午後の部 13:30~15:30

- 講師 丸亀竹うちわ夢風  
河野竹克、松原佳恵、妻鹿美智子
- 定員 各回とも12名(先着順)
- 受講料 3,000円(入館料を含む)
- お申込み方法

受付開始日 令和6年6月1日(土) 9:30~  
ご住所、氏名、電話番号、人数を阿波十郎兵衛屋敷まで  
電話、FAXまたはメールでお知らせください。  
定員に達した時点で締め切らせていただきます。

■会場・お申込み

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷  
徳島市川内町宮島本浦184

Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683  
awajurobeyashiki@mf.pikara.ne.jp  
<http://joruri.info/jurobe/>





## 講座内容

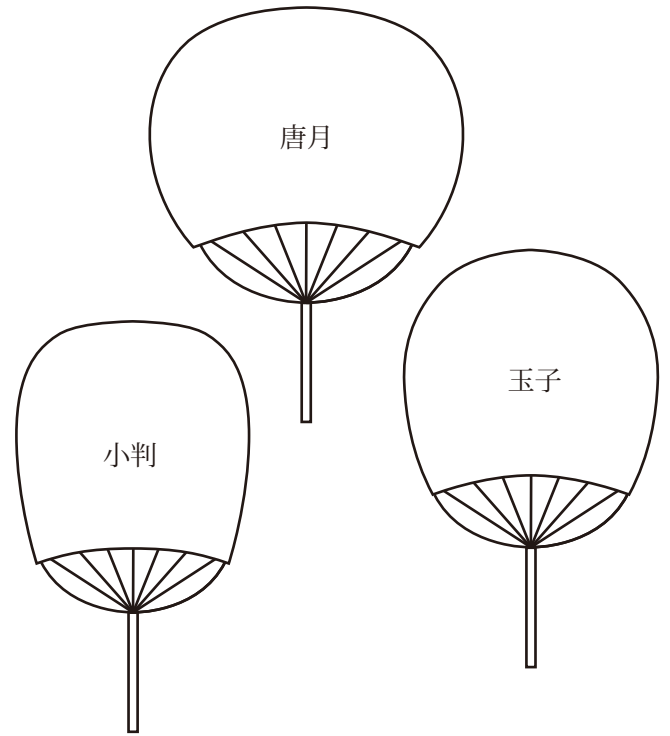
徳島と香川の手仕事のコラボによるうちわの制作体験

- ①うちわの骨と藍染め和紙を選ぶ。
- ②貼立(はりたて)／和紙を貼って乾燥させる。
- ③うちわの制作工程を実演しながら解説。
- ④型切り／鎌を当て木槌で叩いて骨と和紙を切り落とす。
- ⑤へり取り／うちわの周囲に「へり紙」を貼る。
- ⑥耳貼り／うちわの両側に飾りの耳紙を貼る。



### うちわの形

次の3種類からお選びいただけます。



### 丸亀うちわ

丸亀は、年間1億本以上のうちわを生産し、国内シェア9割を占める日本一の産地です。うちわで最も重要なのは、骨のしなり具合と、扇いだ時の感触。国産の竹を細かく割いた骨を使い、優しくやわらかな風のうちわを作ります。

### 阿波和紙

江戸時代には阿波藩の藩札や奉書、仙画紙などの御用紙の他、藍染和紙により全国にその名が知られました。最盛期には吉野川流域で500戸が和紙を漉いていましたが、現在は吉野川市の阿波和紙伝統産業会館において、伝統を守り続けられています。



### 阿波藍

徳島は、日本一の藍染めの染料の産地です。徳島では、日本の三大暴れ川と呼ばれた吉野川が洪水とともに運んだ肥沃な土で、全国で最も品質の良い藍をつくることができましたのです。今でも5軒の藍師が天然藍の染料を作っています。

### 阿波人形浄瑠璃定期公演

阿波人形浄瑠璃の公演や展示室も、併せてご鑑賞ください。

【公演時間】 11:00、14:00

【演目】「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

